

第7回 獣医学術奨励賞選考委員会の会議概要 (学術部会個別委員会)

日 時 平成20年11月5日(水) 11:00~13:00

場 所 日本獣医師会会議室

出席者

【委員長】 酒井 健夫 日本獣医師会理事(学術部会長)

【産業動物部門委員】

明石 博臣 日本産業動物獣医学会副会長(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

澤田 勉 大阪府獣医師会副会長

(欠席:委任状提出)

岡本 芳晴 日本産業動物獣医学会理事(鳥取大学農学部教授)

加茂前秀夫 日本産業動物獣医学会会長(東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授)

酒井 淳一 日本産業動物獣医学会監事(山形県農業共済組合連合会第2事業部長)

和田 恭則 神奈川県獣医師会(麻布大学獣医学部教授)

【小動物部門委員】

大橋 文人 日本小動物獣医学会会長(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)

坂本 紘 鹿児島県獣医師会会長

西村 亮平 日本小動物獣医学会誌編集委員会(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

(欠席:委任状提出)

廉澤 剛 北海道獣医師会(酪農学園大学獣医学部教授)

竹村 直行 東京都獣医師会(日本獣医生命科学大学大学院共生科学技術研究院教授)

中山 裕之 日本小動物獣医学会誌編集委員会(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

丸尾 幸嗣 岐阜県獣医師会(岐阜大学応用生物科学部教授)

【公衆衛生部門委員】

熊谷 進 日本獣医公衆衛生学会会長(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

福村 圭介 沖縄県獣医師会会長

本多 英一 東京都獣医師会(東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授)

山田 章雄 日本獣医公衆衛生学会副会長(国立感染症研究所獣医科学部長)

(欠席:委任状提出)

岩田 祐之 日本獣医公衆衛生学会理事(山口大学農学部教授)

山本 茂貴 日本獣医公衆衛生学会監事(国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長)

【本 会】 中川 秀樹(副会長)ほか

議 事

- 1 獣医学術奨励賞の選考方法等について
- 2 委員会における検討事項(協議)

日本獣医師会獣医学術奨励賞(学術賞、功労賞)の審査等

会議概要

開会に当たり、酒井委員長から挨拶があった後、加茂前副委員長から副委員長(産業動物部門)の権限を酒井委員長に委任する旨の委任状が、また、他の欠席委員からは各部門副委員長への委任状が提出されていることが事務局から報告された。

1 獣医学術奨励賞の選考方法等について

事務局から、獣医学術奨励賞に関する規程と申し合わせ事項、並びに本賞の選考方法等について説明があり、了承された。

2 委員会における検討事項

日本獣医師会獣医学術奨励賞(学術賞、功労賞)の審査等

学術賞については学会機関誌に掲載された研究論文の中から、功労賞については推薦のあった業績の中から、それぞれ各部門ごとに選考審査が行われ、副委員長から審査結果と選考理由がそれぞれ以下のとおり報告された。

産業動物部門

学術賞：牛ウイルス性下痢ウイルス汚染豚房における牛ウイルス性下痢ウイルス感染試験 高久英徳(北海道根室家畜保健衛生所)、他

<選考理由>

牛ウイルス性下痢ウイルスが豚に感染する可能性について抗体を検出することで明らかにし、さらにウイルス汚染牛舎に豚を導入することで実験的に証明した。この業績は家畜衛生現場における牛ウイルス性下痢伝搬阻止を図る上で有用な情報を提供するのみならず、豚コレラ確定診断上重要な知見となる業績である点を高く評価した。

功労賞：牛の胚移植技術に関する研究とその実用・普及

金川弘司(北海道大学名誉教授)

<選考理由>

世界に先駆けてカナダにおいて1973年から77年にかけて胚移植技術の確立と実用化を図り、帰国後同技術の国内普及と実用化に尽力するとともに北海道牛受精卵移植研究会を創設し、同技術の改良・向上並びに定着に貢献した。

小動物部門

学術賞：わが国におけるオウム嘴羽病の疫学調査

真田直子(千葉県開業)、他

<選考理由>

検出率のより広いPCR法を応用して、1,000例以上の検体を全国的に集約して成績を提示している極めて有益な疫学調査結果であり、日本におけるオウム嘴羽病の防疫を進める上で大変有用な研究と評価した。

功労賞：小動物外科領域における診断・治療法の研究とその技術の普及

中間實徳（山口大学名誉教授）

< 選考理由 >

小動物臨床においてさまざまな外科的疾患の診断ならびに治療法の研究、開発を積極的に実施し、その技術を広く普及した。

公衆衛生部門

学術賞：豚枝肉における体表由来汚染のインク着色による検討

齊藤伸明（岩手県食肉衛生検査所）、他

< 選考理由 >

と畜場の解体処理工程における体表からの豚枝肉汚染状況を、検印用インクを用いて調べることによって汚染されやすい枝肉部位と汚染要因を明らかにした研究であり、と畜場の解体処理における衛生管理と衛生教育に役立つ成果を提示した点を高く評価した。

功労賞：と畜検査技術の向上及びと畜場の衛生確保の普及啓発

竹内重正（元青森県環境保健センター所長）

< 選考理由 >

と畜場における牛白血病の検査体制の重要性を明らかにし、と畜場法の改正に貢献するとともに、と畜処理の衛生管理に取り組み、と畜場へのHACCPの導入を推進するなど、獣医公衆衛生分野の発展に寄与した。

3 ま と め

第7回委員会は、酒井委員長により以下がとりまとめられた。

- 1 獣医学術奨励賞表彰規程第9条に基づき、選考結果を速やかに会長に報告すること。
- 2 第8回委員会は平成21年1月23日(金)、平成20年度日本獣医師会学会年次大会(岩手)の会場であるアイーナ(いわて県民情報交流センター)において開催すること。

閉 会

閉会に当たり、中川副会長から以下のとおり挨拶が行われた。

- (1) 熱心に時間をかけて獣医学術奨励賞を選考いただいたことに厚く御礼申し上げます。
- (2) このたび小動物部門の学術賞において開業獣医師が選考されたことは、開業獣医師にとっての励みになると思われる。
- (3) 今後も獣医学の学術の向上に是非とも協力をお願いしたい。